

Do small things in a great way



月刊

ZENIYA & LIFE

— 最高の普通を —

ご自由にお取りください

2023
March
vol.33

3

光る風に
誘われて
上本町



春の天然色



ゼニヤの
キホン

Principle of
ZENIYA

ちよつとしたことを、
ちやんとやる。
そうとしか言いようのない
基本を大切にしたいと
思います。

使っても減らない埋蔵資源

上町台地には埋蔵資源が眠っています。歴史や文化のことです。普通に生活していれば気付かないかもしれないそれは、知って活かさなければ埋もれたままです。

初代神武天皇が橿原神宮で即位される前に今の大阪城の辺りに生國魂神社を創建し、豊臣秀吉が現在の場所に遷座しました。聖徳太子は19歳で四天王寺を建立し、太子の側近であった秦河勝によって雅楽や申楽（能楽）の前身となる芸能が伝えられ、天王寺楽所はその伝統を今に至るまで継承しています。「ムシゴロシ」と語呂合わせで覚えた大化の改新は、645年の6月に飛鳥宮での蘇我入鹿の暗殺を発端としますが、政治改革そのものは同年12月に遷都された（前期）難波宮で行なわれました。「日本」という国号が定められ「天皇」という称号が正式なものとなった、まさにその舞台となったのです。

うえぼんまち錢屋ホールのある錢屋本舗南館は7年前の新築の際に、

文化財保護法で定められた試掘調査をしましたが土器の破片ができました。難波宮の朱雀大路に近く、細工谷遺跡なども発掘されていますから、市の調査員によると「奈良時代以前と思われる」「この辺りでは当たり前」という事でした。私達が生活するこの場所に古代から人の営みがあったことを実感しました。

むしろ使って残す埋蔵資源

上本町周辺は高層マンションが建てば売れる人気のエリアです。上町台地は上町断層があるので地震には備えねばなりません。強固な岩盤で、その名の通り台地なので洪水の心配はなく、上本町周辺は商業施設、病院、学校も多く便利なことが要因となっているようです。新築マンションの販売用パンフレットには、錢屋カフェも周辺の施設としてご紹介いただく事も多いです。それはありがたいのですが、私としてはこの地の歴史や文化も是非紹介

をして頂きたいと不動産ディベロッパーや営業の方々にお願ひしています。歴史的背景や文化的土壌は簡単に得られるものではなく、その視点を持ってこの地の素晴らしさを知っていただけただけなら、住まう方々や育つ子供らにとつて誇りや愛着に繋がるのではないかと思います。

日本列島を御祭神とする生島大神、足島大神の二柱を祀る生國魂神社は、神話から始まるこの地の歴史を理解したならば天照皇大神の伊勢神宮とも並び称されるべき神社で、それを結ぶ鉄道の本社所在地でもあるこの町は、日本が神話から歴史へと切り替わった舞台とも言えます。国譲り神話にあるように、勝ち取ったのではなく譲り受けて成り立ったこの国の神話はユニークで、丁寧に紹介すれば世界に向けた観光資源としても活かすこともできるはずです。使っても減らないどころか使えば残る貴重な埋蔵資源を掘り起こし活かしましょう。

（文・正木）



ゼニヤの
ホンキ

Earnest of
ZENIYA

Information



めがねづくり
ワークショップ

日時：
2023年3月24日(金)～
3月26日(日)
午前の部11:00～14:30
午後の部 15:00～18:30
場所：銭屋サロン/セミナー室
※詳しくはwebサイトをご覧ください。



本気だからこそ伝わる。
伝えたいから本気になる。
どちらも大切にしてお届けします。



モノづくりを理解し、
味わえる
イベントです



ZENIYA GALLERY POP UP [期間限定イベント]

『#共感できる人とつながる』

月に1遍だけ開店するめがね屋『銭屋めがね』。めがね舎ストライク運営のもと、お気に入りの1本と出会っていただくための提案をしています。ご来店理由は様々です。視力に不安がある方、似合うめがねとの出会いに期待する方、ファッションアイテムとして次なる1本を選ばれる方。私も約2年前にめがねを新調しましたが、自分では選ばないフレームの色(ピンク)を勧められ、数十分悩みました。しかし、「客観的に自分を捉える」が隠れテーマだったので、ここは流れに身を任せ

てお勧めされたとおりに作りました。気が付いていない自分がまだまだ存在する

勢いよく作ったものの、ピンクめがねを日常使用するまでにかかった日数は約3か月。いま思うと笑い話ですが、普段かけていたものに慣れすぎていたため、変化することに対して誰かになにか思われるのではな

いか、と過剰に考えていました。しかしピンクめがねをかけてみると、「普段のものより肌馴染みも良くていいよ」と声をかけて下さる方もいて、恥ずかしながら皆さんからの声で「日常使いのめがね」にすぐにランクアップしたのです。

そんな実体験も経て、いまでは

「銭屋めがね」のことはもちろん「気が付いていない自分と出会うこと」をホンキでお勧めします。少しでもワ



カラーバリエーションも豊富!!

クワクの種が心の中にあればぜひ。3月は自分の手でめがねをつくるワークショップも開催します。数種類の中からフレームを選び、顔のサイズ・目の位置に合わせてサイズを決め、カラーを選び、糸鋸で実際に切削、そして研磨作業を行います。この一連の作業を約3時間30分で行うのですが、日頃味わうことのない体験には、気持ちが高ぶるかも。仕上げは職人さんが整えてくれますので、作業に不安がある方もご安心ください。

完成するのは5月後半。参加した人たちが一堂に会し、作っためがねを受け取り、披露し合います。皆さん我が子のように愛情に満ち溢れているはず。同じ体験を行ったからこそ共通の話題ができ、#共感できる人とつながる喜びが生まれるでしょう。

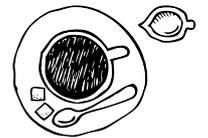
買い物以上の価値を創造するめがねづくりワークショップ、ぜひご参加ください。

(文・中島)





錢屋カフェ
カフェタイム



ちょっとした時間、
ちゃんとした美味しさを

コーヒーをこよなく愛した音楽家
ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

3月21日は、音楽の父、バッハ
(1685-1750)の誕生日。

バッハは大のコーヒー好きで遺品
には、楽器や楽譜のほかになんと
コーヒーポット5つとカップが出
てきたそうです。

錢屋カフェでは、店内にバッ
ハの音楽を流し『錢屋オリジナ
ル・バッハブレンド』をご用意し
て誕生日をお祝いします。

バッハが1723年から65歳で
亡くなる1750年までの間過ご
したライプツィヒ。町の中心地
にはカフェバウムという1720年
創業のドイツ最古のカフェがあ
ります。ここはドイツのコーヒー文
化の発祥の地で、芸術家が集うサ
ロンのような役割をしていまし
た。バッハもこの店の常連で、50
歳の時にコーヒーを飲みながら作
曲したのが『コーヒー・カンター
タ』です。コーヒーが大好きで
コーヒーのことばかり考えている
娘と、コーヒーを何とかやめさせ

ようとする頑固な父とのやり取り
がユーモラスな小喜歌劇です。

「千のキスより甘くて、マスカッ
ト酒より甘いわ」とソプラノが歌
う魅力的な楽曲があります。珈琲
鑑定士 濱崎氏にこの曲を鑑賞して
いただきましたところ、インスピ
レーションが湧きあがり誕生した
のが『バッハコーヒー』です。一
口飲むと心に恋するようなときめ
きを感じるのには、バッハと濱崎さ
んのコーヒー愛がつまっているか
らでしょうか。

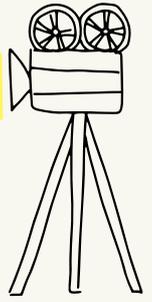
3月は錢屋カフェでバッハの
名曲とコーヒーの饗宴をどうぞお
楽しみくださいませ。(文・伊藤)



ライプツィヒ／聖トーマス教会の
バッハ像



期間限定販売 バッハブレンドコーヒー／3月1日(水)～31日(金)



銭屋シネマ

～ちょっと考えてみたいこと～

- 各回チケット代
(前売り)1,800円 (当日)2,000円
※1ドリンク付き
- お問い合わせ先(事前予約優先)
銭屋カフェー 06-6770-5770

#自分の頭で考える

甚大な被害をもたらした2011年3月11日の東日本大震災。これまでのライフスタイルを見直し、エコロジカルで持続可能な暮らし方に移行した日本人は少なくないのではないのでしょうか。

今月の銭屋シネマは、サステナブルやSDGsについて考える入門編としておすすめの数々の作品を上映いたします。AIの飛躍的な発達により、私たちの日常は便利になりましたが、溢れる情報のなか、人間ならではの仕事「自ら考える力」がより重

ようこそ銭屋シネマへ。
ここは映画館ではない空間。
シネマコンプレックスでは流さない
“ちょっと特別な映画”を、
コーヒー片手にゆっくりお楽しみください。

作品情報・上映についての最新情報は
銭屋カフェーWebサイトをご覧ください。



要になつてきたと感じます。

銭屋本舗本館の3月・4月のテーマは#自分の頭で考える。

私たちの大切にしている価値観のひとつを皆さまと共有できましたら嬉しく思います。

(文・伊藤)



銭屋シネマ
3/8 [水]
20:15-

できる - セ・ポシブル

将来、持続可能な生活をすることを心に決めているマチルダとジョナサンは、エコロジカルな暮らしの実践者たちに会うため、8ヶ月の間、ボランティアしながら日本を縦断することを決意する。

原題: DEKIRU: C'EST POSSIBLE / 監督: マチルダ・ジュリアン&ジョナサン・カレン / 製作: ロレンス・ラフィット、ケビン・アモン / 配給: ユナイテッドピープル / 後援: アンスティチュ・フランセ日本 / 制作国: 日本 / 公開: 2019年 / 時間: 99分

銭屋シネマ
3/21 [火・祝]
18:30-

台北カフェ・ストーリー



台北でカフェをオープンした姉妹は、物々交換とものを持ち込んだ人たちの交流をカフェの一番の魅力にしていく。物々交換をきっかけに変わる価値観。本当に大切なものは? おしゃれ感覚あふれるカフェ・ストーリー。

原題: 第36個故事 / 監督: シアオ・ヤージュアン (蕭雅全) / 製作: リン・ジェチアン / 配給: ユナイテッドピープル / 制作国: 台湾 / 公開: 2010年 / 時間: 81分

シネマイベント

銭屋カフェー 物々交換会

誰かの価値観に出会う春

3月21日の銭屋シネマ『台北カフェ・ストーリー』上映後、作品内において重要なキーワードの一つである「物々交換」にちなんで、「銭屋カフェー 物々交換会」を開催します。おうちの中でねむっている(大切にしてきた)から良い、モノ)だけ(自分以外の誰かに使ってもらいたいモノ)をテーマにした品をそれぞれ持ち寄って頂き、当日ご来館くださったお客様や銭屋スタッフと物々交換会を行うイベントです。交換方式は完全ランダム、予算は問いません。

3月といえば出会いと別れの季節。春の足音が聞こえるにつれ、うれしいようなむずがゆいような、期待感で胸が膨らむそんな時期に、モノを通して誰かの価値観に触れることで、新しい気持ちや発見のエッセンスを日常に取り入れてみませんか。皆さまの奮ってのご参加を、心よりお待ちしております。

(文・溝端)



Information シネマイベント 銭屋カフェー 物々交換会

日時: 2023年3月21日(火・祝) ※18:30からの『台北カフェ・ストーリー』上映後
会場: 銭屋カフェー 参加費: 無料(映画観賞券別途)

銭屋ラリー亭 開催!



「カフェで落語会しませんか？」と声をかけてくださったのは、今回出演いただく桂吉坊さん。上方落語発祥の地の一つが、生國魂神社の境内であることを知り、なにかつくりたいと考え誕生した「うえほんまち銭屋ホール」。従来通り、このホールでの寄席を依頼するために吉坊さんに相談すると、返ってきたのがまさかの冒頭のお

カフェで落語会

言葉でした。寄席がはじまる江戸初期までは、噺家は湯屋や床屋、蕎麦屋など、人が集まる場所を使って噺をかけていたという説もあり、いまの時代でも蕎麦屋の座敷を会場にして落語会を開催されることもあるようです。

吉坊さんとお話していると、頭

の中がほぐれてきて、縛られていたのは私たちだったのかも、とハッとさせられます。

「今までいろんなところでやってきましたよ。ある場所では所狭しと掛け軸が吊るされており、お客様の顔もほとんど見えない……ということもありました」。

こうでなければならぬ、というルールのようなものは挙げ始めると多く出てくると思いますが。しかし、目の前にいらつしやる、この会を共に作る方が、どうしたいかが、どう感じるかを大切に、その場と機会を作っていくたいと感じました。きっとそのほうがお越しになる方のことも愉しませることができそうです。

今回の特徴は、息遣いまで聞かえてきそうな距離の近さと、枕(導入の語り)では食事も愉しんでいただけの時間をつくるということ。開場しましたら、メニューをお渡ししますので、ぜひ銭屋カフェもご堪能ください。ご提供の頃には、吉坊さんの一席目が始まりです。せっかく、この場所で行うのですから吉坊さんと共にとことんやりたいですね。

伝統芸能といえども気軽に行ける場所を、銭屋カフェーから発信したいと思えます。うえほんまち銭屋ホールで開催する寄席とはひと味違う時間をどうぞお楽しみください。

(文・中島)



Information

銭屋ラリー亭

日時：2023年4月13日(木)

第1部 19:00~20:30(開場 18:45) 第2部 21:00~22:30(開場 20:45)

料金：1,800円(自由席・税込) ※別途、ドリンク・フードの御注文をお願いします。

会場：銭屋カフェー(大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町14番6号)

イベントの詳細は
こちらから





銭屋塾の講座は、
ちょっとしたことを
ちゃんとやってみる「大人の学び場」。
講師が込めた想い、
受講された方にもたらされた感動を
ご紹介します。



ZENIYA

銭屋塾

いつもの暮らしをもっと豊かに、
そして丁寧に。

④ 銭屋塾

自分らしさを表現する

メイク講座

色んな自分に出会える、魔法のような力がメイクにはあります。これまでメイクを教わったことのない方にも非常にお勧めのレッスンです。講師のMASUMI先生は柔らかな雰囲気、ちょっとしたことで相談しやすい空気感をお持ちの魅力あふれる方です。メイク用品もオーガニックにこだわります。



生徒さんとのコミュニケーションを大切にされるからこそ、丁寧な説明、一人ひとりに寄り添ったアドバイスができるのだと実感。その人に合った、納得のいくメイクを提案されるため、この先生ならもう一度参加したい！とお声をいただきます。自分の魅力を引き出すメイクで新しい年度を迎えませんか。

(文・山内)

講師のことば

Teacher Message

健やかに心地よく 綺麗になる

メイクする際、何が似合うのかを気にし過ぎていませんか。もしくは特にこだわりがないと思っただけでも、本当は気づいていないだけで必ず好きなイメージはあるはず。その『好き』を上手く引き出しながら、メイクを通して新しい自分を発見してほしいという想いを持って活動しています。

「綺麗」と言われると嬉しいものです。ナチュラルで透明感のある肌、その人の個性を活かした抜け感のあるメイクをご提案します。つい肌悩みをカバーするため、足し算をしてしまいがちですが、やりすぎてしまうと逆効果になってしまうこともありま。厚塗りメイクではなく魅力的なパーツを引き立てたミニマムメイクで皆さまの毎日のメイクが楽しくなりますように。

メイク講座 joie beauté MASUMI先生

ヘアメイク歴20年。専門学校講師・ブライダル・撮影・カラー診断・同行コスメなど幅広く活動。2020年拠点を東京へ。敏感肌で悩まされた経験より身体の内側からの整え方や大人のメイク悩み解消講座を開催中。



受講者の声

Student Voice

自分にフィットした メイクに出会えた

しっかりヒアリングしていただき、自分のなりたいイメージと骨格に合ったデザインを提案していただきました。やっと好みのしっくりくるデザインに出会えてとても嬉しいです。お手入れ方法も詳しく伺えて、コンプレックスだった眉毛を活かしてみようと思えました！

受講者 H様

毎日のメイクが 楽しくなる！

先生のメイクレッスンはとても楽しかったです。自分では選べない色を似合うように変化させてくれる先生のセンスに脱帽でした！ひとつのアイテムを色々な用途に活用する方法や、アイテムを選ぶポイントなども教えてください、普段メイクをほとんどしない私も久しぶりにコスメカウンターに行きたくなるレッスンでした。いい意味でメイクへのハードルが下がったのかな？と思います！

受講者 匿名希望様



MASUMI先生

メイク講座

～アイブローレッスン～

3月17日(金) 18:30~21:00

3月18日(土) 10:30~13:00

※両日とも同じ内容です。

3/15(水)

13:00-14:30

Culture & Life

ふらっとアート巡り

講師/琴見ゆり

受講料/4,000円(芦屋Uf-fuの紅茶付き)

銭屋ギャラリーで、ふらっと気軽にアートを楽しむ時間です。今回取り上げるのは『ピカソ』。本当に上手いの?なぜ天才と呼ばれるの?誰しもが抱く疑問を一気に解決。「ピカソとその時代」展を楽しむヒントもお伝えします。これであなたもピカソ通!



3/19(日)

①11:00-12:00 ②14:00-15:00

Culture & Life

天然石講座

講師/鈴木みえ

受講料/8,800円(ペア割お1人8,000円)

気になった石を使って自分だけのアクセサリをお作りいただきます。今回はブレスレット作り!ご自身が気になった石には意味が隠されています。先生がお1人ずつ、そのメッセージをお伝えします。あなただけの応援アイテムを作りましょう。大切な方への贈り物としても。



気になった石を使って自分だけのアクセサリをお作りいただきます。今回はブレスレット作り!ご自身が気になった石には意味が隠されています。先生がお1人ずつ、そのメッセージをお伝えします。あなただけの応援アイテムを作りましょう。大切な方への贈り物としても。

3/21(火・祝)

10:30-15:00

Culture & Life

カフェミナーヂュ®講座

講師/北林貴子

受講料/18,000円(弁当代込)

魂輝道神愛先生監修
~ Fortune wallet
~カフェミナーヂュ®
お財布のベッド

お財布を大切に扱っていますか?開運に繋がる近道は“お財布=自分の分身”という気持ちでお財布を扱うこと。お財布が心地よさを感じることで、よい循環が生まれます。これからお財布を大切に扱いたい、と思うあなたと一緒に、カフェミナーヂュ®の手法でお財布のベッドを制作するスペシャル講座です。難易度 No.1 雑貨ですが、作り応えがあるからこそ愛着も湧きます。ぜひチャレンジください。



3/8(水)

13:00-16:00

Culture & Life

NEW

珈琲焙煎教室

~珈琲の手焙煎を楽しむ~

講師/岡田美保子

受講料/15,000円(焙煎道具一式、生豆100g、出来上がりお持ち帰りあり。20gコーヒ-500cc分)

コーヒーが生鮮食品だということは、あまり知られていません。ごはんは炊きたて、パンは焼きたてが一番美味しいように焙煎したてのコーヒーは、栄養価の高い最高の健康食品なのです。本物のコーヒーは甘くてエグみがありません。自分で焙煎したコーヒーは格別です。コーヒーが苦手な方も気軽にご参加ください。



3/14(火)

10:30-13:30

Culture & Life

刺繍で彩る暮らし

講師/古田マイ

受講料/5,000円(芦屋Uf-fu紅茶付き)

フラワーショップの店先にもチューリップが並ぶ季節となりました。3月はチューリップをモチーフに刺繍をしましょう。シックなホワイトのチューリップです。簡単な仕立てでしおりに仕上げます。読書のお供に、4月からの新しい手帳にぜひお使い下さい。少人数での開催ですので、講師がお1人ずつ丁寧に指導いたします。初心者の方も気軽に参加ください。



ZENIYA

銭屋塾

2023.3/2~4/7

レッスン スケジュール

銭屋塾では、料理・文化・ものづくり・健康などに関する様々な講座を開催しております。集い、学び、体験することの素晴らしさを再発見してみたいかがでしょうか。開催についての最新情報は銭屋塾Webサイトでご案内しております。**お申込みの詳細は、10ページ**をご覧ください。

3/2(木)・3/9(木)

Exercise

3/23(木)・3/30(木)

13:30-14:30

ゆったりヨガ

講師/Se2ko

受講料/2,200円

(体験レッスン1人初回1回のみ1,100円)

週に1回、身体をほぐす習慣を!無理なくできるポーズやご自宅でもできるものなどもレッスンで学ぶことができます。自分自身で身体を整えることができるようになりますか。初心者も経験者もお気軽にご参加ください。



いつもの暮らしをもっと豊かに、
そして丁寧に。

4/3(月)

11:00-18:00

発酵食育伝道師の1Dayカフェ 「発酵を楽しむカフェ」

講師/畑中伸洋

メニュー/400円〜ドリンク(生甘酒etc) 1,300円ランチセット(発酵カレー、発酵ライスバーガー)

発酵講座担当の畑中先生1Dayカフェ!当日は発酵ランチ2種と生甘酒、グアバ茶 etc.をご用意してお待ちしております。畑中先生ってどんな先生?と気になっていた方、発酵に興味のある方、ちょっと近くを通る方、ご友人とランチのご予定の方!どんな方も気軽にご利用頂ける1日です。是非この機会に発酵食を召し上がってみませんか?

Cooking

特別
イベント



3/22(水)

11:00-14:00

小さな可愛い幸せをつくる和菓子教室

講師/吉岡みどり

受講料/6,300円(試食・お持ち帰りあり)

和菓子作りを楽しむ時間がホッと一息つけるひと時となります。日常に和菓子作りを取り入れてみませんか。今回は桜と可愛いうさぎの2種類の薯蕷饅頭と、季節に合わせた練り切り2種を作ります。初心者でも気軽にご参加ください。



4/2(日)

11:00-12:30

エクササイズ& ウォーキング

講師/亀田智実

受講料/3,300円

「錆びない一生歩ける身体作り」を目指して、正しい姿勢の作り方と簡単ストレッチ法を学ぶ講座です。



継続する事で身体が軽く感じ、疲れもとれやすくなっていきます。固まる身体をしっかり伸ばし、怪我のしにくいしなやかな身体を作っていきます。当日でもお席が空いていればご案内可能です。気軽にお問い合わせください。

Exercise

3/24(金)

第一部11:00-12:00/第二部13:00-14:00

美姿声講座

講師/横山紀江

受講料/初回体験2,000円、2回目以降3,000円

ボイストレーニングをするための事前トレーニングをしっかりと生かした横山式メソッドで、みなさまが持つ本来の声、きれいな姿勢・フェイスラインを引き出し、内面も一緒に整えていきます。きっかけは何でもOK!まずはただただ、楽しい!をご体感ください。



Culture & Life

3/23(木)

12:00-14:00

発酵講座

講師/畑中伸洋

受講料/6,500円(試食・お持ち帰りあり)

本格的なヤムニョムを糶を使って作ります。ヤムニョム作りを学んだ後は簡単キムチ&ヤムニョム料理を一品作ります。カラダの免疫力を上げるには乳酸菌は必須。食べ物から美味しく元気な体をつくりましょう!



Cooking

4/6(木)・4/7(金)

11:00-14:00

発酵おうちごはん 事始め

講師/中川奈央

受講料/6,500円(試食あり・お持ち帰りあり)

「発酵甘酒キムチ作りLesson」です。オキアミの塩辛を使わない手軽に作れる甘酒キムチの素をご紹介します。白菜キムチ・長芋や大根やネギのキムチなどお野菜・果物キムチを作ります。手作りならではのキムチの発酵エキスで発酵熟成したキムチチゲなど、キムチ料理のレシピもご紹介します。



Cooking

4/1(土)

10:00-13:00/14:30-17:30

パン講座【初心者向け】

講師/西田くみ

受講料/9,500円(試食・お持ち帰りあり)

春休みの思い出作りに、親子で作れる動物パンを作ろう(小学生対象)。パン作りは大変そう、お店のように仕上がらない、そんな問題を解決するパン作り初心者向けのレッスンです。生地作りは機械にお任せ!!ホームベーカリーで美味しい生地の作り方もご紹介。ご自宅での親子パン作りを応援します。



Cooking

キッズ
イベント

3. お支払い

レッスンによりお支払い方法が異なりますのでご注意ください



◆カード決済の場合

必要事項を入力の上、クレジット決済にて処理ください。

(対応カード：VISA, MasterCard, AMEX)

※お持ちのカードが上記3種以外でお困りの場合は、トップページ一番下【contact】ボタンをクリックいただき、必要事項を入力の上ご送信ください。折り返しお支払い方法ご案内メールをお送りいたします。ただし、タイミングによってはキャンセル待ちなどになる場合がございますのでご了承ください。

◆銀行お振込の場合

必要事項を入力ください。お振込先ご案内メールをお送りいたします。期日までにお振込みください。

◆錢屋本舗プリペイドカードご利用の場合

お申込み講座名、日時、お名前、お客様住所、お電話番号、メールアドレス、プリペイドカード番号をご記入の上ご送信ください。受付が完了したら、メールにて返信させていただきます。

※必ず salon@zeniyahompo.com を受信できるように設定ください



1. レッスンを選ぶ

錢屋塾のWebサイトの中から受講したいレッスンを選んでいただきます。



2. 受講申込み

ご希望のレッスンの詳細画面にあるピンク色の「予約はこちら」ボタンをクリックしてください。再度レッスンの詳細がご覧いただけますので確認の上、「予定日時」の☑ボタンをクリック。その後、お客様情報を入力してください。



4. レッスン当日

実施の会場をご確認の上、開始5分前に会場へお越しください。

※お着替えが必要なレッスン(エクササイズ系)の場合は、15分前に来場されることをお勧めいたします。



錢屋塾 06-6772-1245

zeniya_juku

fb.me/zeniyahompo.honkan



LINE



錢屋本舗本館
LINE@



錢屋塾や錢屋カフェの最新情報やイベントのご案内を配信します。

YouTube



ヒトの魅力をぎゅっと詰め込んだ公式YouTube。ライブ配信も要チェックです！

錢屋カフェ 06-6770-5770

zeniya_cafe fb.me/zeniyacafe



企画・制作・発行

株式会社錢屋本舗

06-6772-1241

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-6

<https://zeniyahompo.com/>



バックナンバーはこちら



原和人先生の俳句教室

俳句に親しみ、言葉を磨く



俳句の楽しみ

― 四季の行事を楽しむ ―

関西には、四季を通じ興味深い行事・お祭りが沢山あります。俳句の季語に関係する三大行事（独断と偏見です）が、東大寺二月堂のお水取り、吉野の満開の桜、京都の祇園祭でしょうか。

お水取りを例にとりますと、三月二日の若狭の「お水送り」の行事にはじまり、三月十二日の籠松明でクライマックスを迎えます。また、締め括りは、真夜中に良弁杉*のもとにある若狭井でのお水取りです。出来れば、すべて経験したいですね。
※東大寺初代別当の良弁僧正が、幼児の頃驚にさらわれこの杉で見つかったという縁りの杉。



俳句講座

毎月第2土曜日 13時～

最も短い短詩型である17音の俳句を作ることを通じ、日本の文化にも触れていきましょう。俳句教室では、俳句の基本から勉強します。実作の方法は勿論、古今の名句の鑑賞・季語の使い方など、初心者も経験者も一緒に楽しめる講座です。

第78回 錢屋句会

2023年2月11日

兼題：春寒・春寒し、百千鳥、堇（他、自由題2句）

老人の歩幅に犬も春の暮

甲佐京子

先生評

一見平凡に思える句ですが、とても優しい一句に仕上がりました。「春の暮」という季語により、老人と犬との関係がとても微笑ましいものに思えます。歩幅の小さい老人に合わせて犬もスピードを緩めているのです。

来世でもすみれがいいわ雲流る

倉岡静

先生評

堇の気持ちになっています。人間なんて鬱陶しい存在ではなく、可愛い堇に生まれ変わりたい、と言っているのです。雲流るという下5により、春風に吹かれる気持ち良さも感じられます。

百千鳥ひめゆりの碑は沈黙す

玉木あつ

先生評

沖繩の戦禍に亡くなった学徒を慰霊するひめゆりの碑です。碑の周りでは、鳥たちの沢山のさえずりが聞こえてきます。もしかすると、この百千鳥は、慰霊碑を訪れた戦争を知らない現代の学生かもしれないかもしれません。

正座崩して堇の容となる

西野徹

先生評

正座を崩して胡坐あぐらをかいた容（形）が堇の姿となった、という見立てです。言われてみれば、胡坐の形は堇に似ています。こんな発見も楽しい。8音9音の破調ですが、このぎくしゃく感も良いと思います。

講師の句

ポスターの角の剥がれて残る鴨

原和人

鑑賞

残る鴨は、春になって北方に帰っていく鴨の中で、傷や病気で日本にとどまる鴨です。ポスターの角の剥がれている様子と、残る鴨を取り合わせてみました。



「季語のあれこれ」

講師 原和人

春の草を取り上げてみました。春の「草」の豊かな移ろいを感じてください。

◆ 初春の季語

春草焼く 傍題：野焼、草焼く、野火
駒返る草…：冬の間枯れたように見えた草が青々とよみがえってくる
下萌 傍題：草萌…：草の芽が萌えだすこと

◆ 仲春の季語

草青む…：春になって草が青青と地上に出てくること

草の芽 傍題：名草の芽、紫陽花の芽、芍薬の芽、百合の芽、朝顔の芽他
若草 傍題：初草、草若し、新草

◆ 晩春の季語

草の若葉 傍題：草若葉、芒の若葉
*若葉（木々）は夏の季語です。



錢屋本舗本館が発信する価値観が、カタチになったモノを集めた商店です。日々の生活に取り入れていただくために、おススメしたい理由のあるモノばかりです。



錢屋商店



遙か彼方から届いた 手仕事の愛おしさ

2022年11月にオープンしました錢屋本舗本館オンラインストア『錢屋商店』。ここでは、わたしたちが発信する価値観のもと選んだモノについて語ります。

今回、ご紹介するのは、北アフリカのストーリーを届けることで、現地の貧困緩和や雇用機会の創出を目指している輸入雑貨ブランド『DAR YASMINE ーダールヤスミンー』のチュニジア雑貨です。どのアイテムも昔から受け継がれてきた伝統の技法を活かして作られており、素材や模様からは現地でこれまで大切にされてきた文化さえも感じられます。特に私のお気に入りにはチャイグラス。チャイはもちろん個人的にはお酒をいれるグラスとしてお使いいただくこともお勧めします！鮮やかな色やアラビア語で綴られたシンプルなデザインが、食卓を異国テイストに演出してくれます。

ダールヤスミンのアイテムは、何と云っても既に持っている生活雑貨とも



相性がいいところがポイントです。そのため普段の生活にも取り入れやすく、大切な人への贈り物として選んでいるうちに自分のためにも欲しくなってしまうモノばかりです。

私たちの身の回りにはこのように、世界各地からやってきたモノたちがたくさんあります。世界どこかで一つひとつ手仕事で作られたあと、海を越えてやってきたモノたちは、手にした瞬間私たちに様々な気持ちを抱かせてくれます。日本で生活しているだけでは出会えなかったモノに出会えた時の喜び、そして見たことのない技法で描かれた模様を見た時の感動、暮らしの中でどう活かすことができるのかと考える感情もまた一期一会。

手仕事ゆえ生まれる色やデザインのムラに愛おしさを感じながら、世界の手仕事雑貨で身の回りを囲んでみませんか。

(文・山内)

上本町人

上本町には街を愛し、愛されている人がたくさんいます。
なじみあるあの人やあの店の歴史、自慢、これからのことを、根掘り葉掘りと聞きました！



気軽に、毎日でも来れる お酒と食事の店

BACCANOは26年目になります。最初は、北側のクリニックビルあたりで今の半分ほどのスペース。立ち退きでこちらに移ってきて、19年目です。僕はもともと中華料理を12年ほどしていたのですが、時流に沿ってカラオケボックスなど全く関係のない仕事を始めました。それからハイハイタウンで、カラオケと簡単な食事



ジャージャーファイ
家常菜&BAR
BACCANO
店主 中田 尚さん

が出せるような店を開いたら人気が出まして(笑)。そこでお酒と食事の店をやるうとBACCANOを作りしました。

BACCANOは、家常菜&BARと看板にあるように、半分は僕が作る中華料理も取り入れた食堂のような感じの店です。食事をされる方が多く、特に女性1人のお客様が結構来店されるので、1人でも手が出せるような値段設定のフードメニューを充実させています。

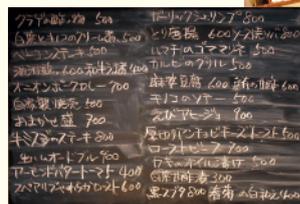
上本町で店を始めたのは、やっぱり地元で商売がしたかったから。親もこの界隈で会社をやっていましたし、地元は先輩後輩の繋がりがあります。それに、この界隈で長くやっていると、開店当時のお客さんも、そのお子さんも、さらには3代にわたって来てくださる方も。それはやっぱり同



オシャレな店内の雰囲気
を彩るのは、中田さんの
娘さんの版画作品。



カウンターとテーブル
30席の店内。テーブル
チャージもなし。



じ場所が続いているから味わえる喜びです。

上本町は特にこの10年ぐらいで、ずいぶんと変わりました。上六と呼んでいた「どや街」の時代を知っている僕らからすると、ものすごく綺麗になりましたね(笑)。その当時の雰囲気は、ハイハイタウンの地下街が引き継いでくれています。当初は綺麗な店ばかりでしたが、今は淘汰されて立ち飲み屋もたくさんあり、昔の雰囲気を保っているように思います。店をやるうえで大切にしてきた



家常菜&BAR
BACCANO
大阪市天王寺区上本町6-7-16
TEL.06-6775-9291
営業時間：17:00～翌2:00
定休日：日曜日

のは、同じことを飽きながら来ないように自分で工夫しながら続けることです。だからこそ毎日のメニューも日替わりでいろんなものを出します。店にはいろんな業界や年齢の方が来られ、カウンターで横並びになると他にはない出会いもあります。カウンター内にいる僕らはそれを全部見渡せて、まさに人間ウォッチングです。とても面白いし、楽しい。飽きないですよ(笑)。

僕は店をやる時、かしまってしまふような店は嫌やつたんです。ずっとお客さんに言っていたのが、「近所ならパジャマで来て」ということ。以前はパジャマパーティーをやるうという話もありましたが、そういう面白いことをまた考えたいなと思っています。それぐらい気軽に、毎日でも来れるような店をずっと目指します。

(取材・山田/前田)





雨あがりの虹

Vol. 27

監修：正木大貴【博士(医学)】

教育関連の制作を仕事とする銭屋本舗の子会社サン・ロワから、子供の成長を支えて晴れやかな日々を送れるような小さなアイデアや提案をお届けします。いろいろある毎日でも、雨上がりには虹が見えますように！



ココロ
コミュ

子供の想像力を養うために 親にできることは？

Vol. 2

人とコミュニケーションを取るときに、相手の気持ちや考えを押し量る「想像力」。2月号では、子供の「想像力」がどんな時に養われるかをご紹介します。今月は、「子供の想像力を育む」ために親ができることをご紹介します。

子供の想像力を育むために親ができること

幅広い年代の人と話す

同世代の友だちだけでなく、年上、親、祖父母世代の人たち

とコミュニケーションの機会を増やすことで、子供は様々な視点や意見に触れることができます。話を



することによって徐々に他者の気持ちや想像し、感情を理解するようになっていきます。また趣味や嗜好が異なる人と話すことも想像力を伸ばすために役立ちます。

様々なジャンルの情報に触れる

全く知識をもたずに何かを想像す

るのはかなり難しく、限界もありません。想像を広げるためには、あらかじめある程度の知識を持つておくことより理想的です。子供は大人に比べ、未知の分野に対して柔軟に受け入れる余地が大きいですから、いろいろな情報に触れさせてあげましょう。

バランスよく考える

子供の個性によっては、ポジティブなこと、逆にネガティブなことばかりを想像するかもしれません。想像はしていますが、どちらかに偏りすぎるのはある意味、想像力が欠けているともいえます。その場合は、親が「こんな考え方もあるよ」「お母さんはこう思う」など、極端な想像ばかりにならないようアドバイスをあげてください。

本を読む

自分と同年代の登場人物が活躍したり、友情を育んだりするフィクションは想像しやすくお勧めです。もちろん科学や歴史など未知の世界を見せてくれるノンフィクションも、子供の想像力を高めてくれます。



では、子供の想像力を伸ばすために、親が注意したいことは何でしょうか。子供の想像力は大きく伸びる余地がありますが、大人の言動によってその可能性が狭まるおそれがあります。親にそんなつもりがなくても、細かく口出しをされると子供は親の考えとは異なる考えをしていけないと感じ、自ら想像しなくなってしまうかもしれません。もし、子供が倫理的に望ましくない意見を言った時も、注意するだけではなく「なぜいけないのか」を想像させてみてください。

子供の想像力には無限の伸びしろがあり、子供の想像を親がジャッジする必要はないでしょう。想像力は勉強と違い正解を求めるものではありません。これも、「あり」という感覚を楽しむことが、次なる想像の原動力になります。子供に寄り添い、ともに想像力を育んでいきましょう。

#他人の評価より
自分の基準

良い店、美味しい店をお客さんが投票して評価するアプリがあります。私が疑問を持っています。「多くの人が良いと言っている」のは「行列のできる店なら美味しいだろう」といった感覚に近いのかも知れませんが、実際に並んでいる人が見えるならば、例えば若い人ばかりが並ぶ店だと私は（きつと嗜好

が合わないと思像でき）「並ばない」という選択ができるのですが、アプリだとその行列（数値の構成要素）は見えないのでアテにならないのです。

多数決で良い店を決めるのはナンセンスで、せいぜい家族やよく一緒に食事をする友人の評判を手掛かりにするくらいで良いのではないかと思います。ただ、この言い分には年齢や経験といった要因もあるかも知れません。私も若い頃には観光地の

イメージして巡る
大坂冬の陣①

錢屋本舗本館近くの小橋町交差点を北へ10分ほど行った大阪明星学園の敷地付近に、「大坂冬の陣」で真田幸村が築いた要塞「真田丸」があったと言われています。

「大坂冬の陣」は、豊臣家と覇権を握りつつあった幕府の二度に渡る争いの初戦。10万人の豊臣方が守る大坂城が、幕府軍に



攻められました。

東西北を大きな川で守られた大坂城は、攻められるなら南面。

幸村は特に平野口の脆弱性をカバーするために「真田丸」を築いたのではないかとされています。実際に行ってみると、明星学



名所の写真を撮って周るような旅行をしました。今は気に入った景色を見つけては写真に納めます。自分の基準で行動する方が幸福度は高まると思うようになります。（文・正木）

園付近はアップダウンが激しく複雑な地形です。なぜこの場所だったのかと思いつきながら歩いてみると、周囲の谷や山を歩き回りながら考えを巡らせたであろう幸村にリンクするようで楽しめます。

復元された城や史跡も面白いですが、イメージを膨らませながら巡る合戦の跡地巡りは思いのほか臨場感があり、よいものです。カフェ帰りに散歩すると楽しいかもしれません。（文・池側）

みんなの「ちょっとしたことをちゃんとやる」を繋ぐ

リレー



錢屋本舗 商事部
平野 亜樹

日常の中の
小さな幸せ

私の「ちょっとしたことを、ちゃんとやる」は、毎日の精米です。玄米を購入し、炊飯の前に家庭用精米機で精米しています。

精米機を購入することになったきっかけは、玄米は子供にとつて食べにくかったことと色んな歩合で食べてみたいという気持ちからでした。精米歩合は、七分米、五分米、三分米、白米、胚芽米と切り替える事ができるため、おらずに合わせたり、その日の気分を変えたりしています。

精米後の米糠は、ガーゼに包んで入浴剤として利用しています。保温効果があり、お肌もしっとりするのでとても気持ちが良いんです。

土鍋で炊いたご飯をいただき、米糠風呂に入る。

それが私の何気ない日常の中の「小さな幸せ」です。手間をかけて育ててくださった全ての農家さんへ感謝の気持ちを込めて、食事を楽しみたいと思います。



月刊

UEMACHI & LIFE

It's my place

- みんなのわがまち -

ご自由にお取りください

2023
March
vol.33

3

10年前と今とで、この町は何が良くなって何が悪くなったか。そして10年後は？暮らす、働く、楽しむ、学ぶ、育てる、育つ、老いを迎える…。この町を歩き交うさまざまな人が、それぞれの思いで描く10年後の寄せ書きです。

寄書

未来の上本町

上本町が人の活きる町である限り 僕ら落語家も生かしてもらっている



落語家
桂 吉坊さん

「上町のおっさん」は、数ある上方落語のキャラクターの中で、実在の人物だ。この人、何かと話題に出てくるのだが、ほぼ本人は出てこない不思議な人で、登場人物が何処かに出掛けて行った先が「上町のおっさん」とこへ行ってまだ帰ってこない」だの、無筆の男がもらっ

た手紙の主は「上町のおっさんからと違うやろか」と予想したり、身内のようなそうでないような、近いような遠いような、へ声はすれども姿は見えず、ほんにお前は屁のような…なんて茶化すとバチが当たる。というのも、僕、桂吉坊にとっても祖縁の師にあたる人な

んである。

「上町のおっさん」。その名を七代目桂文治。当時、上方落語で浪花三友派の頭領、二代目の桂文團治から七代目桂文治を襲名、桂を名乗る落語家の家元となる。孫弟子やひ孫弟子、一門は百人を超えるという権勢をふるった師匠であったが、大正半ばの華々しい引退興行の後、昭和三年に亡くなったのを知る人は何故か少なく、それは寂しい最期だったそう。それを思うにつけ、僕の大師匠の桂米朝が、自身の入門の時に師匠四代目桂米團治に言われた「末路哀れは覚悟の前やで」という言葉の重みが知れようというものである。

江戸時代に今日の芸態ができた落語だが、上方落語は今も残る大阪の町を舞台として様々な物語が展開する。座布団の上で喋る落語家の口から出てくる登場人物は、物語と現実の町並みを縦横無尽に駆け回る。上町にはおっさんがいて、お彼

岸になれば天王寺さんにお参りにでかけ、喜六清八のおなじみのコンビは安堂寺橋から伊勢参りへと旅立つ。若い者が寄り集まって「上六の交差点で…」なんて言い出したりする。

人間の寿命は数十年というものだが、その人間が紡いできた町の歴史には、何百年何千年という営みがあり、だれかがどこかで繋がっている。時代を越えて通じる人の気持ちを感じて落語は生き残ってきた。

この町が人の活きる町である限り、僕ら落語家もまた、そこに生かしてもらっている者の一人であると信じている。



誰のものでもない我が町。その未来はみんなの輪でつくりましょう。